

# 五如来

前回は施餓鬼会にお祀りさせて頂くお地藏様について考えました。今回はお地藏様と一緒に祀りしている五如来様について考えてみようと思います。

五如来様といっても初めてその名を知ったと感じた方もおられるかも知れません。実は施餓鬼壇の正面に五本の幡を立て、それぞれに「南無宝勝如来」、  
「南無妙色身如来」、  
「南無甘露王如来」、  
「南無広博身如来」、  
「南無離怖畏如来」と書かれてあるのが五如来様です。これらの如来様のお名前を見て耳なじみがあると思われる方もおられると思います。それは施餓鬼会の御回向で何度も繰り返し五如来様の偈文をお唱えしているからです。それは施餓鬼会を修して五如来の名号を称えれば、すべての餓鬼を救うことができますと説かれているからです。次に偈文を挙げてその意味を考えてみたいと思います。

南無宝勝如来 除慳貪業福智円満

(南方 宝生仏)

たくさんの宝を持つ、世尊、宝勝如来よ、心からあなたの御名をお称えいたします。どうぞ餓鬼たちから、物惜しみと貪りの心を除き取り、円満な心をお授けください。

南無妙色身如来 破醜陋形円満相好

(東方 阿閼仏)

美しい姿の、世尊、妙色身如来よ、心からあなたの御名をお称えいたします。どうぞ餓鬼たちのやせ衰えた、それ故、恐ろしくさえ見える姿を消し去り、ふくよかな姿をお授けください。

南無甘露王如来 灌法身心令受快樂 (西方 阿弥陀仏)

不死を支配する、世尊、甘露王如来よ、心からあなたの御名をお称えいたします。どうぞ餓鬼たちの身と心に、不死をもたらず法を注ぎ、安穩をお授け下さい。

南無広博身如来 咽喉広大飲食受用 (中央 毘盧遮那仏)

ありとあらゆる世界に手足を伸ばしている、世尊、広博身如来よ。心からあなたの御名をお称えいたします。どうぞ餓鬼たちのか細い喉を広げて、飲食を取らせて下さい。

南無離怖畏如来 恐怖悉除離餓鬼趣 (北方 釈迦牟尼仏)

恐怖を消し去ることのできる、世尊、離怖畏如来よ。心からあなたの御名をお称えいたします。どうぞ餓鬼の世界の恐怖を消し去り、餓鬼の世界から解き放って下さい。

それぞれの偈文の後に付け加えましたのは、如来様の異名、というよりも我々になじみのあるお名前といってもよいでしょう。特に甘露王如来は阿弥陀様のことですし、広博身如来は奈良の大仏様でよく御存じの毘盧遮那仏、離怖畏如来とはお釈迦様のことなのです。

実は五如来様と皆様とは深い関わりがあります。それは施餓鬼会の後、お供物と一緒に配りしている小幡があります。小幡は五如来様の幡と同じ形で志すところも同じものなのです。お盆にそれぞれのお家で小幡を立てて餓鬼に供養し、その功德を御先祖様への回向とする。いわば、お盆の間毎日お家でお施餓鬼をしているという気持ちが大切であろうと思います。